

三条北ロータリークラブ週報



人類が 私たちの仕事

例会日
2002. 2. 12
累計 No 740
当年 No 31

国際ロータリー会長 リチャード D. キング 第2560地区ガバナー 野沢謹五
ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560nzwa>

例会日／火曜日 12:30～13:30
例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内
☎35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- I 真実かどうか III 好意と友情を深めるか
- II みんなに公平か IV みんなのためになるかどうか

会長／木宮 隆
幹事／山中 正
SAA／長谷川恵慈

行 事： 「世界理解月間」国際奉仕委員会 堀川委員長
卓話「ペイオフ」石川 勝行会員
出 席： 本日の出席 58名中 42名
先々週の出席率 61名中 53名 86.89% (前年同期 91.07%)
【1月の出席状況：会員数 61名 例会数 4回 平均出席率 79.2% (前年同月 85.27%)】

先週のメークアップ： 2月6日 三条RCへ 高橋彰雄さん
7日 見附RCへ 深岡 茂さん
9日 R財団セミナー（新潟）出席 米山忠俊さん

ビジター： 三条RCより 橋 直樹さん

会長挨拶： 木宮 隆

雪印と言えば、乳製品では業界ナンバーワンであり、美味しいバターや牛乳といったブランドイメージが定着していた。それが今では、悪徳商人の代名詞と化している。ブランドとは実に怖いものだ。

ある主婦などは、雪印の食品だけは何とか食べていた偏食の息子が今回の事件で、明日から食べるものが無いと起訴も辞さないと言わんばかりの剣幕である。

商品にとって、ブランドは客観的な品質の証であると同時に、会社の信用そのものと言える。今回の事件は70年余の努力によって確立された「雪印なら安心」と言うブランドイメージが一握りの心無い上層部によって悪用された結果、一夜にして背信のブランドに成り下がったケースである。しかし、ブランドは地に落ちたとはいえ、雪印の食品の食味が落ちたわけではない。私はむしろ、この事件を契機に、あの美味しかった雪印の食品が食卓から姿を消すことに一抹の寂しさを禁じ得ない。

業界トップの雪印の後退、否、消滅を競合他社はどう思っているのだろうか。食品業界は今、今



- 2月19日例会： 卓話 西山一斎会員・笹原壯玄会員
2月26日例会： 夜例会 於三条ロイヤルホテル 点鐘午後7時
卓話「目の成人病」としみ眼科医院院長 山口淑美様
3月5日例会： 卓話「歯の成人病について」
元新潟大学歯学部歯科保存科名誉教授・歯学博士 原 耕二様
3月12日例会： 卓話
3月19日例会： 会長エレクト研修報告会 梨木会長エレクト
3月26日例会： 夜例会 三条ロイヤルホテル 点鐘午後7時
4月2日例会： ロータリー雑誌月間
4月9日例会： 卓話
4月16日例会： 卓話
4月23日例会： 卓話「泌尿器科の成人病♂」平岩医院院長 平岩三雄様
4月30日例会： 夜例会 三条ロイヤルホテル 点鐘午後7時

回の事件で失われた消費者の信頼をいかにして回復するかが問われているのだと思う。業界一位にしてこの体ならくだから、他は推して知るべし、との認識が広まる事を恐れる良識が残っていることを信じたい。

雪印のマーケットシェアをいくら取れるかなどという感覚しかない業界人や安さのみを追求してやまない消費者ばかりが横行するようではこの問題の解決には程遠いのではないか。

デフレ経済が進行する中で、100円ショップに代表される商品の品質低下や、それを是とする消費マインドが益々助長されている。消費者が神様であるなら我々が自らの安易な消費行動を改めることこそ、今、必要なではないのだろうか。モラルハザードを起こした神様だけが跳梁跋扈する消費マーケットに巣食うのは悪徳商人だけだろう。

幹事報告： 山中幹事

- ・五泉ロータリークラブより 40周年記念式典のご案内 参加して頂ける方は事務局までご連絡ください

日時 平成14年4月6日（土）13時～

会場 ガーデンホテル マリエール

- ・野沢ガバナー、佐野ガバナーエレクトより 2002-03年度会長エレクト研修セミナーのご案内

日時 2002年3月17日（日）9：50～

会場 サルナート吉運堂（白根市）

- ・ガバナー事務所より 2002-03年度R I テーマが決まりました

慈愛の種を播きましょう（Sow the Seeds of Love）

- ・ロータリーの友委員会より 2002-03年度版全日本ロータリー名簿、手帳お買いあげのお願い
手帳は1部600円です。希望される方は名簿表に○印をご記入ください。

- ・月信8号閲覧用を用意しております。地区ガバナー賞を受賞した山崎年度「大島彰講演会」が掲載されています

- ・オントーバルセロナ委員長より 2002年国際大会参加のお願いが届いています。配布しましたのでご覧ください

委員会報告： 親睦活動委員会 親睦旅行参加のお礼 藍染め体験の作品紹介

ニコニコボックス： 12日現在累計 741,000円

橋直樹君（三条RC）親睦旅行ご利用頂きありがとうございました。私の日頃のおこないの悪さのせいで、伊豆半島に雪を降らせてしまいました。ロータリーの友情をお許し下さい。

今井克義君 親睦旅行、参加いただきました会員、並びに御夫人方にお礼申しあげます。近畿

量に応じてその対価を支払います。この「買い」から「売り」に立場が大きく変化するということをしっかりと認識していただきたい。そしてもうひとつの違いは、エリートの持つ意味の違います。学生のエリートというのは、勉強ができる人を言い、学校の勉強には必ず決まった答えがあります。ビジネスには、決まった答えはありません。その答えを会社の目的の中で作り出していく人こそが、エリートといえます。

次に会社にとって望ましい人物像とはどういうものかと申しますと、価値観がトップと同じであること。いろいろな運営方針や十人十色の考え方があるなかで、常にトップの考え方や姿勢を理解して、常識にとらわれず価値観を共有できる人物が望れます。

競争社会を勝ち抜いていけるのは、ほんの一握りの企業（人）です。他社ができないと思っていることをやり、他社が必ず失敗していることを成功させ、ひいては「あの会社と戦って勝てるわけがない」と思わせるようになること。それこそが差別化につながるといえます。

皆さんは、自らの将来を託そう、この会社なら応えてくれる、と判断して我が社を選択したはずです。会社のトップも皆さんの将来に対する責任の重さを承知していますし、皆さんの選択に応える為に日々もがき続けています。私達はお互いに選択しあって今ここに居るのです。皆さんが、「会社を利用して自分の夢を実現する」という気持ちでおおいに活躍されることを期待しています。

第8回理事会

開催日時	平成14年2月12日（火） 11：30～12：30
開催場所	三条ロイヤルホテル
出席者	木宮 長谷川（博） 梨木 山中 石川（勝） 山崎 落合 今井 山本 堀川 大野 小林（満）五十嵐 出席者13／13（内委任状1）
協議事項	1. 新年会決算報告 承認 2. 親睦旅行補助の件 承認 会員夫人23名参加 1人5,000円補助 3. 退会届けの件 承認 芦田・阿部誠一郎・小田会員 4. 社会奉仕事業の件 承認 松尾与十郎築堤の歴史を尋ねる「五十嵐川～歴史と自然の道について」今後細部を検討 5. 次年度委員会組織変更の件 承認 6. 人形寄贈協力の件 承認 インドラリコットRCの人形間館に三条北RC国際奉仕事業として寄贈協力する 7. 3, 4月プログラム変更の件 承認